富山県SDGs宣言

とやま生活協同組合はＳＤＧｓの達成のため、以下について取り組むことを宣言します。

とやま生活協同組合は、2022年4月に富山県生活協同組合と生活協同組合CO・OPとやまが合併し、「私たちは力を合わせ、誰も取り残さない、平和で心豊かな地域社会を創ります。」を理念に掲げ事業・活動を開始しました。組合員、職員、地域と協同しながら宅配事業を中心に生活支援事業（配食）、店舗事業、福祉事業、共済事業に取り組み、また社会的課題にも取り組んでいきます。
SDGsは環境保護、社会的包摂、経済成長という3つの主要素の調和が欠かせません。当生協はこれらの3つの主要素の調和を大切にして持続可能な社会を目指し、事業・活動を通して組合員とともに17の目標達成に貢献していきます。

No.	取組目標及び主な取組み	SDGsゴール
1	【目標】 事業・活動を通して、温室効果ガス削減に取り組みます。 【主な取組み】 ・2030年までに温室効果ガスを2013年度比60%削減を実現します。 ・太陽光・小水力等の再生可能エネルギーの開発と導入量の増加を進め、2030年までにとやま生協が直接排出する電力由来のCO2量を実質ゼロにします。 ・組合員とともに環境保全活動を推進し、自然共生社会の実現を目指します。	
2	【目標】 助け合いの組織として、平和で公正な社会づくりを進めます。 【主な取組み】 ・宅配事業、生活支援事業（配食）、店舗事業、福祉事業、共済事業や活動を通して、誰もが安心して地域で暮らし続けられる取り組みを継続します。 ・平和、国際支援、災害支援の活動は組合員とともに進めます。 ・ジェンダー平等を推進し、だれもが働きやすい環境づくりを進めます。	
3	【目標】 組合員とともにエシカル消費、食品ロス削減、資源リサイクル活動に取り組みます。 【主な取組み】 ・SDGsおよびエシカル消費の取り組みをより一層発展させるため、包材の軽量化、環境や社会に配慮した主原料の取扱量を増やします。また環境や社会に配慮した商品に共通のロゴマークをつけ普及します。 ・食品ロス削減、フードドライブの推進は組合員、役職員が一緒になって取り組みを継続します。 ・生協の事業から排出される容器包装等の回収、リサイクル活動を組合員とともに推進します。	

2022年 4月 1日
企業・団体名 とやま生活協同組合
代表者名 代表理事　理事長　寺岡　富美夫